

## 目的

高等学校等における国際理解教育及び外国語教育の水準のさらなる維持向上を図るため、SGH等のイノベーティブなグローバル人材育成を実践する事業の成果を踏まえ、継続的発展的に取り組む高等学校等を対象としたネットワークを構築し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを通じて、SGH等の成果普及と持続可能なグローバル人材育成のネットワークづくりを推進する。

管理機関（教育委員会・学校法人等）



連携

- ・国内外の高校・大学
- ・国際機関（OECD, UNESCO等）
- ・企業・非営利団体

- ◆ 人材やプログラムの提供
  - ◆ 国際交流の機会の提供
- ✓ 探究学習の指導方法
  - ✓ アクティブラーニング
  - ✓ 國際理解教育
  - ✓ 海外研修ノウハウ
  - ✓ 海外姉妹校締結ノウハウ 等

文部科学省

SGHネットワークへの参加募集



文部科学省主催

- ◆ 全国高校生フォーラム（例年12月開催）への参加
- ◆ グローバル人材育成全国連絡協議会への参加 等

※SGHロゴマークの使用も可



## SGH ネットワークへの参加要件

- ◆ 対象学校：SGH指定校、SGHアソシエイトとなった高等学校、又は地域協働による高等学校教育改革推進事業（グローカル型）指定校、特例校、アソシエイト校のうち、「SGHネットワーク参加に関する規定」に掲げる参加要件を満たす取組を実施し、文部科学省主催の全国高校生フォーラム及びグローバル人材育成全国連絡協議会への参加等、全国的な取組に継続的に参画することを希望する高等学校等（国公私立高等学校及び中高一貫教育校（中等教育学校、併設型及び連携型中・高））
- ◆ 参加校（令和6年度）：118校  
(国立10校、公立64校、私立44校)

### ◆ 要件

- ✓ グローバル人材像を設定し、当該人材像を踏まえ、卒業時に生徒が身に付けることできる資質・能力を具体的かつ明確に定め、公表していること
- ✓ グローバル人材育成に資する課題研究又は先進的な課題研究等の実績を踏まえた、グローバル人材育成に資する発展的な実践に取り組む教育課程等を編成していること
- ✓ 国内外の高校・大学・国際機関等との連携により、より実践的で高度な学習活動が行われていること
- ✓ グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーション、プロジェクト型学習等の手法が、外国語によるものも含め、生徒の主体的な学びを促すものとして効果的に取り入れられていること
- ✓ 一定期間ごとに、本取組に関する自己評価・学校関係者評価を実施すること

★SGH等の事業を通じて、全国の高等学校に形成されたグローバル人材育成プログラムの内容と運営の経験知、国内外のネットワーク等、有形無形のリソースを共有し、魅力的な教育課程の充実や国際的なつながりの拡大など、イノベーティブなグローバル人材育成を実践する事業の取組のさらなる質的・量的な発展を目指す。